

文京区補助金等チェックシート（実績検証用）

所属 保健衛生部予防対策課精神保健担当

問合せ先 03 - 5803 - 1230

6年度調査

1 補助金の名称等

補 助 金 の 名 称	精神障害者相談支援事業補助金									
根 拠 規 定 等	文京区精神障害者相談支援事業補助金交付要綱									
創 設 年 月	平成	18	年	10	月	経過年数 〔自動計算〕	17年	終了予定年月		
見 直 し 年 月	令和	6	年	4	月	経過年数 〔自動計算〕	0年			
見 直 し の 内 容	補助基準額の変更(1,623円→1,635円)									
予 算 科 目	款	項		目		大事業		中事業		計画事業番号
	6衛生費	1保健衛生費		4障害者自立支援事業費		3地域生活支援事業		1地域生活支援事業		22
補 助 金 の 種 別	☒ 奨励的補助 ☐ 施設運営補助 ☐ 扶助的補助 ☐ 投資的補助 ☐ 利子補給									

2 補助金の概要

補助目的	精神障害者への相談支援体制を確保することにより、障害者福祉の向上を図る。					
補助事業等の内容	精神障害者及びその家族等を対象とした以下の相談支援事業 (1)福祉サービスの利用援助 (2)各種施策に関する助言、指導等 (3)相談者の権利擁護に必要な援助 (4)専門機関の紹介 (5)その他相談全般					
補助対象経費の内容	相談担当者(精神保健福祉士等)を配置した場合の当該人件費					
補助事業者等	☐ 区民 ☐ 地域活動団体 ☒ NPO(特定非営利活動団体) ☒ 事業者 ☐ その他					
	[特定の相手方に補助している場合は具体的に記入] 社会福祉法人復生あせび会、非特定営利法人エナジー本舗、公益財団法人東京カリタスの家					
補助金の算出	☐ 定率〔補助率 〕 ☐ 定額〔補助額 〕 ☐ 補助単価〔 補助単価 1,635円 単位 〕 ☐ その他					
	[その他の場合は具体的に記入]					
	[定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入] 区が定める賃金単価表による時給					
公募の状況	非公募					
実績報告書時における 用途の確認方法	☐ 領収書 ☐ 契約書 ☒ 決算書 ☐ 成果物 ☒ その他〔事業報告書〕					
補助・単独の状況	☐ 区単独 ☒ 補助(区上乗せ無し) ☐ 補助(区上乗せ有)	負担割合 上乗せの内容・理由	区	国	都	補助対象者

3 交付実績

(件、千円)

項目	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(予算)
交付(見込み)件数	3	3	3	3
決算(予算)額	9,323	8,635	8,648	8,698
国庫支出金				
都支出金				
その他				
一般財源	9,323	8,635	8,648	8,698
交付実績の特記事項				

4 補助金の交付の適否に関する基準 [○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当]

項目	内 容	判定	判定の理由(△、×の場合のみ記載)
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	○	
	基本構想、総合戦略、個別計画等の区の政策に適合しているか	○	
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	○	
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	○	
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	○	
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	○	
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	○	
	補助金の交付による効果が認められるか	○	
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	○	
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	○	
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の 補助金につ いては不要	法令等に抵触していないか	○	
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	○	
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	○	

5 効果、課題及び今後の方向性

効果	令和5年度は、精神障害者や当事者の家族から18,766件の相談を受けており、地域で生活する支えになっている。
課題	相談支援の需要はあるが、事業所が増加しないため相談窓口や相談員が限られている。
今後の方向性	今後も利用者が安心して地域生活をおくれるよう、事業所と連携しながら引き続き支援を行う。